

12年にわたり「市長コラム」を掲載させていただきましたが、今回で最終回となります。長い間ご愛読いただきありがとうございました。



3期(平成20年～令和2年)の市政を顧みて

平成20年4月に市長に就任し、3期12年の任期を務めてまいりました。この間、少子高齢化やIT技術の進化等、著しい社会の変化に対応できる仕組みを創るべく、自助・共助・公助の理念のもと活動してまいりました。

就任前から市の課題であった高齢化・人口減少については、「市民総ヘルパー構想」を提唱し、もやいの精神で社会に参画、地域全体で高齢者を見守る体制を構築するとともに、人口増・定住促進のための「結婚サポート事業」をスタートさせました。また、各行政区への「自主防災組織」設立や「まごころ代行サービス」「ワンストップ総合窓口」導入など、市民の皆さまが安心して生活ができるよう取り組んでまいりました。4月24日には、市の新たな観光・農業振興の拠点となる「道の駅三矢の里あきたかた」がオープンします。

将来に向けたインフラ整備としては、「高速通信網(光ファイバー)」、「お太助フォン」、「新公共交通システム」、「テレワーク」



サテライトオフィス」「東広島高田道路」等を整備・導入しました。これらは、今後も市民の皆さまの生活に密着し、利便性の向上に資するものと考えております。

子育て支援では、24時間保育体制(ファミリーサポート)「病児保育」の整備をはじめ、3歳以上の保育「完全無償化」、「在宅育児世帯支援給付金制度」の導入など、子育て環境の充実を図ってまいりました。

学校教育においては、他市町に先駆け市費での「学習補助員」配置、小学校への「電子黒板」「タブレット」設置、また、学校統合を推進し「八千代小学校・甲田小学校・愛郷小学校・高宮小学校」を開校するなど教育環境の整備に努めてまいりました。

文化・スポーツでは、「神楽」や「毛利元就」、「サンフレッツチェ広島」や「ワクナガレオリック」などを支援し、地域の宝として魅力を発



信しました。特に、神楽については、「高校生の神楽甲子園」「ひろしま安芸高田神楽東京公演」の実施や海外公演(ブラジル・メキシコ・フランス・タイ)、首都圏の大学との協定締結など市の知名度向上につながったのではないかと思います。

人権を尊重したまちづくりについては、部落差別をはじめ、女性差別(男女共同参画社会)、人種差別等あらゆる差別の解消に向け啓発事業を展開しました。また、外国人とのコミュニケーションを基調とし、お互いが暮らしやすい地域を目指す「市民総ガイド構想」を提唱し、防災については、災害時でも市民の皆さまの安全・安心を確保するため、民間企業含め各種団体と物資供給や支援に関する協定を締結し、有事に備えました。

令和2年度以降も限られた財源の中で、事業を運営しなければなりません。市民の皆さまと行政が互いに信頼を深め、一丸となってよりよいまちづくりを推進してまいります。引き続き行政に対するご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4.24 Fri 道の駅 三矢の里あきたかた OPEN!



新たな観光拠点となる「道の駅三矢の里あきたかた」がいよいよオープン。施設内には野菜をテーマにした「ベジパーク安芸高田」や地元の野菜をたっぷりと使用した料理がバイキングスタイルで味わえる「ファーマーズ・レストラン安芸高田」など、観光客だけでなく市民も楽しめるコーナーがいっぱいです。女性や高齢者にやさしいトイレやドライバーの安全に配慮した駐車スペースなど、他の道の駅にない魅力も満載。非常用電源装置や貯水槽を備え、大規模災害時の災害対策拠点としても活躍します。4月24日(金)から26日(日)の3日間はオープニングイベントも開催。

ここに注目!

産直棟



近隣農家さんから直送される新鮮な野菜の販売だけでなく、野菜の情報なども提供する産直市です。野菜の持つ様々な魅力を発信し、野菜の持つパワーを食生活に取り入れていただくことで健やかで美しいライフスタイルの創造に貢献する新しいカタチの産直市です。

レストラン棟



地元産、県内産の新鮮な食材を使用した季節感あふれる料理をバイキング形式でご提供します。好きなメニューを好きなだけどうぞ。食パン専門店の工房をレストラン内に設け、焼きたての香ばしいパンを持ち帰りでもレストランでも楽しめるのも魅力です。

休憩情報発信棟



コンシェルジュが常駐し、来訪者に市内の観光地等を丁寧にご案内します。観光協会オリジナルの毛利グッズ、市公式マスコットキャラクターたかたんグッズも販売。訪れた人がほっとくつろげるオリジナルジュースなどを提供するカフェもあります。

園政策企画課 企画調整係 ☎お太助フォン42-5612